

脊柱変形 up-to-date

I. Early onset scoliosis (EOS)

■ 早期発症型側弯症に対する

one-way self-expanding rods (OWSERs) を用いた低侵襲双極固定

—— ほかのインストゥルメンテーションとの比較…………… 2

町田正文

II. 学童期側弯症

1. 病態・自然経過

■ 思春期特発性側弯症非手術例の長期経過…………… 10

大橋正幸

2. 診 断

■ 小児整形外科医と脊椎外科医による側弯外来の試み…………… 17

佐野敬介

3. 装具療法

■ 思春期特発性側弯症に対しての computer-aided design/

computer-aided manufacturing Chêneau 装具と

active corrective 装具の矯正率の検討…………… 23

岩沢太司

4. 手術療法

1) 矯正手技の工夫

■ Dual rod translation 法による特発性側弯症の三次元矯正

—— 胸椎後弯形成への新アプローチ…………… 28

堀 悠介

■ 思春期特発性側弯症手術のロッドの設置法による胸郭変形の比較…………… 32

和田簡一郎

- 思春期特発性側弯症胸椎カーブにおいて
アウトリガーデバイスを用いた胸椎後弯形成の増強効果…………… 36
関 庄 二

- 思春期特発性側弯症に対する
vertebral coplanar alignment technique の強み
—— 特に低後弯に対する生理的後弯形成…………… 44
山 田 勝 崇

2) 神経モニタリング

- 脊柱変形における運動誘発電位を用いた術中脊髄機能モニタリング
(intraoperative neuromonitoring)
—— 経頭蓋刺激と脊髄刺激による運動誘発電位の比較…………… 51
町 田 正 文

5. 神経筋原性側弯症

- 神経筋原性側弯症 up-to-date…………… 58
中 村 直 行
- 脳性麻痺に伴う脊柱変形に対する治療…………… 62
浦 山 大 紀
- 脳性麻痺の側弯症に対する one-way self-expanding rod ・
腸仙骨スクリュー併用による低侵襲双極固定…………… 69
町 田 正 文
- 脳性麻痺患者の側弯症手術の周術期管理…………… 76
佐 藤 真 亮
- 神経筋原性側弯症と特発性側弯症の側弯症手術における
周術期合併症の比較…………… 82
和田簡一郎

Ⅲ. 成人脊柱変形

1. 自然経過

- 高齢者の脊柱変形における腰痛
—— 椎体終板障害に着目して…………… 88
中 前 稔 生

2. 診 断

- 成人脊柱変形における手術での矢状面アライメントの目標値…………… 95
大内田 隼
- Spinopelvic mismatch に対する股関節代償機能の定量化
—— pelvic femoral angle を用いた股関節矢状面アライメントの
新たな評価法…………… 100
馬 場 一 慈
- 三次元歩行解析が明らかにする脊柱変形の動的変化と代償破綻…………… 105
坂下孝太郎

3. 手術療法

1) 変形全体に対する固定手術

- 成人脊柱変形に対する compression hook を併用した脊柱短縮骨切り術
—— 矯正効果とロッド折損予防の検討…………… 109
菅 野 晴 夫
- 成人脊柱変形における低侵襲手技併用 pedicle subtraction osteotomy…………… 115
清 水 孝 彬
- S2 alar-iliac スクリューを併用した脊椎固定術が
仙腸関節痛に与える影響の検討…………… 121
木 村 敦

2) 矯正手技の工夫

- 硬いカーブを有する重度側弯症に対する手術経験
—— temporary internal distraction rod (TIDR) 法…………… 126
井 上 雅 俊
- 経椎間孔開大型椎体間ケージ回転設置法（最小切開法）による
脊柱矢状面アライメント不良を伴う腰部脊柱変形矯正の工夫…………… 136
小 倉 卓
- 高度側弯変形に対するロッド分割脊椎長範囲後方固定術…………… 141
小 島 利 協

■ 高齢者脊柱後側弯症に対する dual sacral alar iliac screw を用いた脊柱骨盤固定術 —— 遠位 instrumentation failure 予防策……………	147
和田 明 人	
■ Four delta-rods configuration strategy……………	153
藺 隆	
■ 骨粗鬆症性椎体骨折に対する vertebral body stenting の適応と限界 —— 前方開大手技の有用性……………	157
松 木 健 一	
3) 出血対策	
■ 成人脊柱変形手術でのトラネキサム酸投与の 手術出血量の減少に対する効果……………	163
平 田 光	
4) 短期手術合併症	
■ 成人脊柱変形手術における proximal junctional kyphosis と その予防対策 —— 上位固定椎インストゥルメンテーションに注目して……………	166
木 下 右 貴	
■ 成人脊柱変形手術後の機械的合併症に関する 予測因子の特定に関する研究……………	173
川 畑 篤 礼	
■ Controlling nutritional status を用いた 術後主要合併症の予測と予防……………	179
角 南 貴 大	
5) 長期成績	
■ 成人脊柱変形矯正固定術後 10 年以上経過例の治療成績 —— 健康関連の生活の質の変化に注目して……………	182
谷 脇 浩 志	
■ 腰椎除圧術後の脊椎アライメントの推移と臨床成績との関連……………	187
豊 田 宏 光	

IV. 成人の頚椎変形

1. 病態・診断法・アウトカム

- 首下がり症候群の病態と治療…………… 194
遠藤 健司

2. 保存療法とその成績

- 首下がり症候群に対する保存療法の予後不良因子…………… 204
佐野 裕基

3. 手術療法の適応と手技, 成績と合併症

- 脊椎手術支援ロボットを用いた
頚椎椎弓根スクリュー設置の実際と設置精度…………… 210
山本 祐樹
- 首下がり症候群に対するタイプ別手術治療戦略…………… 217
福原 大祐

4. その他

- 頚椎椎弓形成術後後弯変形
—— 予測と予防の実際…………… 222
藤城 高志